

## 肺がん治療剤「イレッサ」市販へ

英国系多国籍製薬企業の韓国アストラゼネカが21日、末期非小細胞肺がん治療剤の「イレッサ」を正式に発売すると発表した。イレッサが保健当局の許可を受けて市販されるのは、日本、米国、豪州、シンガポール、アルゼンチンに次いで、韓国が6番目となる。

同社が96年に開発したイレッサは、既存の化学療法に失敗した非小細胞肺がん患者の唯一の治療剤。国内では2001年12月からEAPプログラムにより、患者の一部に対し、試験的に供給されてきた。しかし昨年6月に食品医薬品安全庁の市販許可を受け、今回の市販が確定。肺がん患者が処方を受けられることになった。

また先月からは、健康保険にも適用された。これにより、1日1錠を服用した場合の患者負担額は、従来は1カ月240万ウォン(約23万円)だったのが、39万ウォン(約3万7000円)に減った。

同社の関係者は「イレッサは、入院治療が必要な他の抗がん剤とは異なり、1日1錠服用する薬品」とし「また保険の適用により、患者は、比較的少ない負担で新しい治療の機会が得られる」としている。イレッサは、医師の処方を受け、薬局で購入することが可能だ。

朴泰均(パク・テギョン)食品医薬専門記者 < [tkpark@joongang.co.kr](mailto:tkpark@joongang.co.kr) >

2004.04.21 18:24